

児童の学力向上は『高瀬小授業スタンダード』の徹底からはじまります！



①学習課題 (ときめき提示)



②課題の可視化 (問いのあるめあて)



③課題把握 (ノート指導)



④自力解決 (複数の手立て)



⑤思考活動 (説明し合う)



⑥操作活動から思考活動へ

① わくわくするような学習課題の提示を…

わくわくするような学習課題の提示は、児童の学習意欲を喚起します。既習事項の振り返りをテンポよく行い、「児童が～したい」と感じる必然性をもたせる仕掛けを工夫し、本時のめあてづくりにつなげましょう。

② 既習事項の振り返り・思考を促す工夫も…

新たな学習課題を追究する際に、児童の思考を助けるような手立ての工夫があると思考を促します。学習課題をイメージ化しやすいように課題を可視化し、問いのあるめあてに結び付けることは効果的な方法です。

③ 自力解決は時間を決めてコンパクトに…

自力解決の目的をしっかりと押さえ、時間を区切ることが大切です。この時間が長くなりすぎると、深い学びを創出する集団解決の時間が十分に確保できません。学習内容にもよりますが7分以内が目安ですね。

④ 集団解決(思考の練り合い)は授業の命…

ここが授業の山場です。プレゼンテーション、操作活動、説明し合う活動、意見交流(ペア活動や小グループ活動)等、学習のねらいを達成するために適切な方法を用い、自力解決の学びを集団での練り合いによる深い学びにしていきましょう。

⑤ 類型化した提示で思考を促す構造的な板書に…

学びの過程が見える板書、多様な考え方が整理され、思考を促す構造的な板書は、質の高い授業にするために不可欠な教育技術の一つです。文字が丁寧で確かな板書は、児童のノート指導にも直結します。

⑥ 問いのあるめあて と まとめ の整合性を…

問題とめあての違いを認識し、問いのあるめあてにしましょう。「～しよう。」という活動目標は、問いのあるめあてとはいえません。まとめとの整合性を図ることで、本時で何が分かったのか、何ができるようになったのかを実感できる学びとなります。

⑦ 振り返りを補完する発展的課題の提示も…

授業の終末は新たな発見と学びを実感する一瞬です。

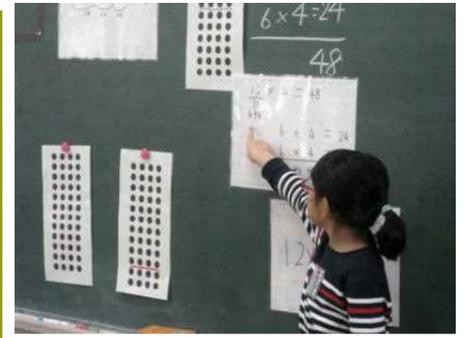
授業づくりの“ゼロベース” ここが大事です！



- ① 発表者は全体を意識し、聞き手は発表者に体を向けて聞く。
- ② 机上进行整理し、背筋を伸ばして学んだことをノートに書く。
- ③ 筆箱には決められた鉛筆等を使いやすいように入れておく。

☆「高瀬小授業スタンダード」を常に所持し、意識して授業づくりをしていきましょう。

☆授業の基盤となる学習ルールは、できるようになるまで繰り返し指導し、定着させましょう。



⑦他者説明 (思考の可視化)



⑧意見交流1 (ペア活動)



⑨意見交流2 (ペア活動)



⑩操作活動 (構造的板書)



⑪操作活動 (類型化)



⑫発展的課題の提示(新たなときめき)

「よい授業」を支える基盤となる条件とは…

- ① 先生の話や友達の説明をしっかりと聞く学習集団になっていますか？
- ② 指名されたときの返事やきちんと起立して発表することが身に付いていますか？
- ③ 発表するときの言い方(話型)がしっかりと身に付いていますか？
- ④ しゃべる教師からうなずく教師へと意識して授業をしていますか？



よい姿勢で聞く